

馬洗川右岸【畠敷・願万地地区】における 内水対策について

令和2年3月

三次市

広島県 北部建設事務所

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

内水対策の概要

■平成30年7月豪雨に伴う内水被害を踏まえて、学識者及び行政関係者（三次市・広島県・国土交通省）からなる【畠敷・願万地地区内水対策検討会】を設置し、浸水要因の検証と内水対策の検討を行い、これに基づいて基本方針、整備目標・内容及び実施期間を以下のとおり決定した。

（1）基本方針

既設排水ポンプ場の排水能力の増強や支川の改修、更には、流出抑制対策などのハード対策、地域住民と連携したソフト対策の実施など、段階的かつ重層的な内水対策を講じることにより、近年内水による浸水被害が生じている当地区の防災・減災を図ることとする。

（2）整備目標・内容

当地区の安全・安心を確保する観点から再度災害の軽減を目指した対策が必要であり、三次市・広島県・国土交通省の三者が連携し、流域対策を含めて、平成30年7月豪雨と同様の降雨に対して家屋の床上浸水の防止を図ることを目標とする。

（3）実施期間

本計画の実施期間は平成30年度から令和4年度までの概ね5年間とする。

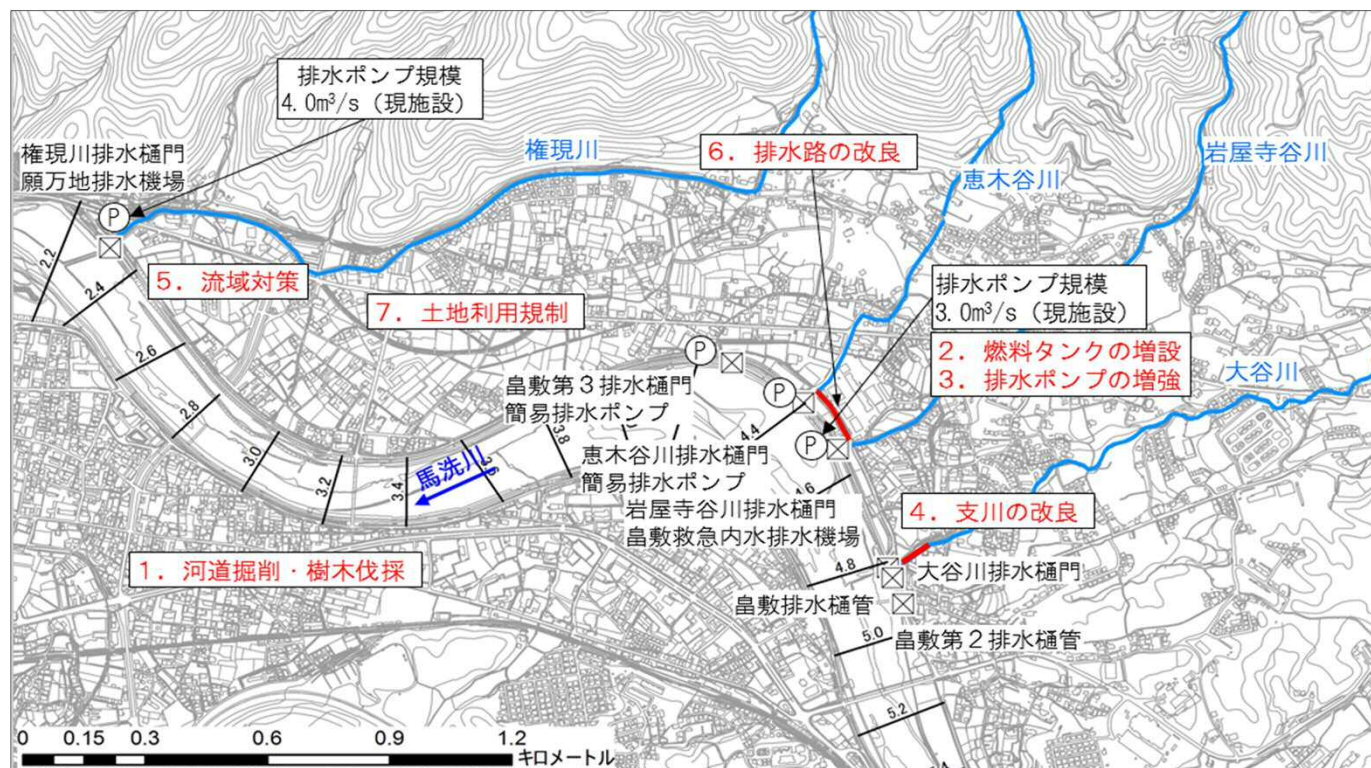
内水対策の概要

■内水対策の実施内容

事業主体	番号 (図2-1)	事業年度 対策メニュー	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	備考
国土交通省	1	河道掘削及び樹木伐採	—————●					
	2	燃料タンクの増設		—————●				
	3	排水ポンプの増強		—————●			
広島県	4	支川（大谷川下流部）の改良		—————●			
三次市	5	流域対策		—————●			
	6	排水路の改良		—————●			国交省ポンプ整備に伴う整備
	7	土地利用規制		- - - - -	- - - - -	- - - - -	- - - - -	

凡例	
—————	工事
.....	調査・設計
- - - - -	現地調査
- - - - -	地元調整

■内水対策の概要

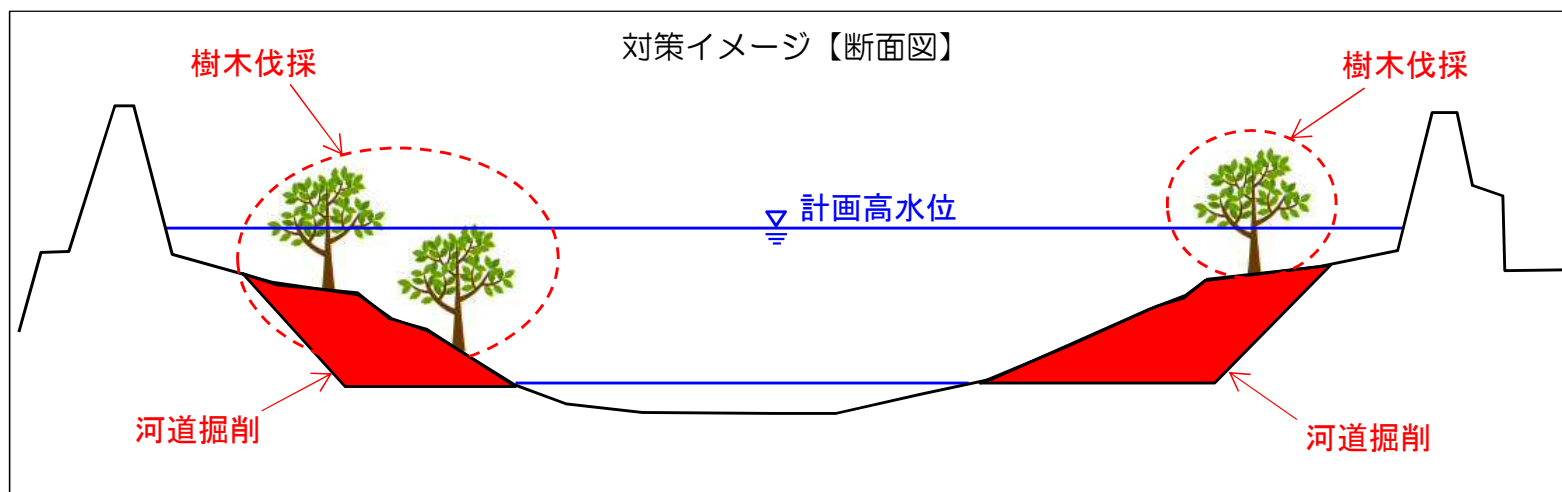


内水対策の内容

(1) 河道掘削・樹木伐採【事業主体：国土交通省】

平成30年7月豪雨等を踏まえた重要インフラの緊急点検の結果、馬洗川において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削、樹木伐採を実施する。

これにより、洪水時の河川水位を低下させ、内水による浸水の範囲、深さ、時間を軽減する効果が期待される。



内水対策の内容

(2) 燃料タンクの増設【事業主体：国土交通省】

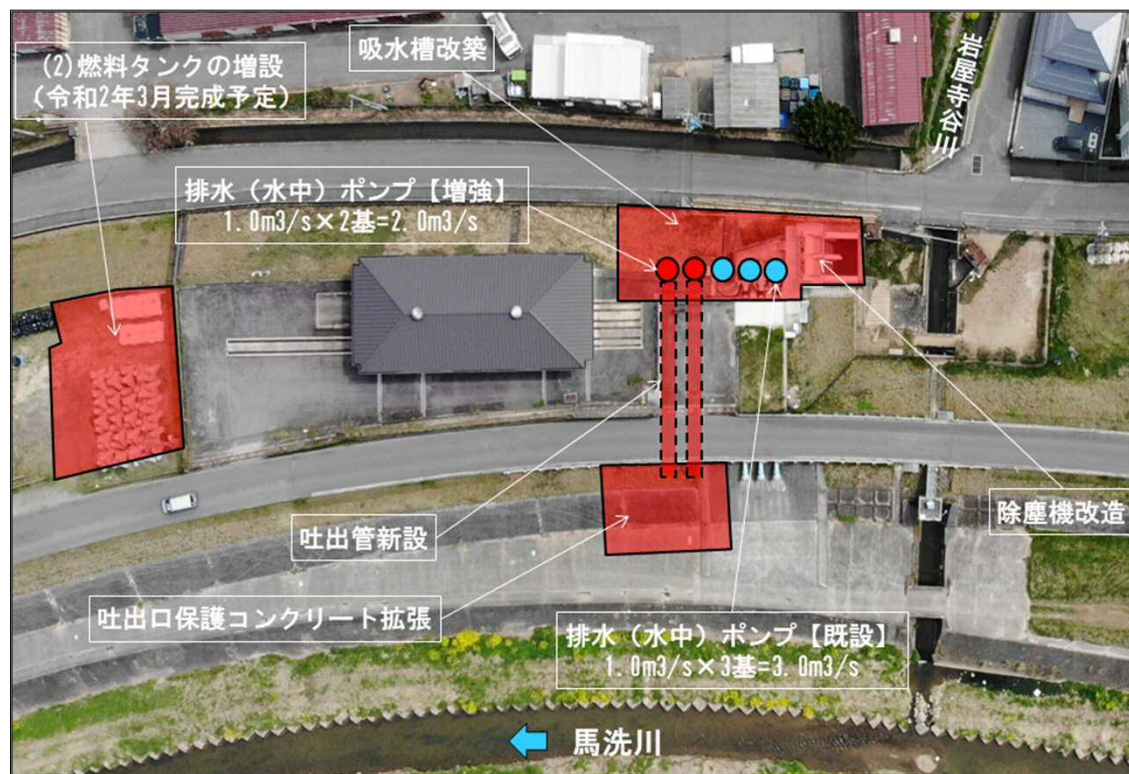
畠敷救急内水排水機場の排水ポンプの増強と併せて、排水ポンプ（排水能力 $5.0\text{m}^3/\text{s}$ ）の24時間連続運転を可能とするため、 $8,000$ リットルの燃料タンクを設置する。

（令和2年3月完成予定）



(3) 排水ポンプの増強【事業主体：国土交通省】

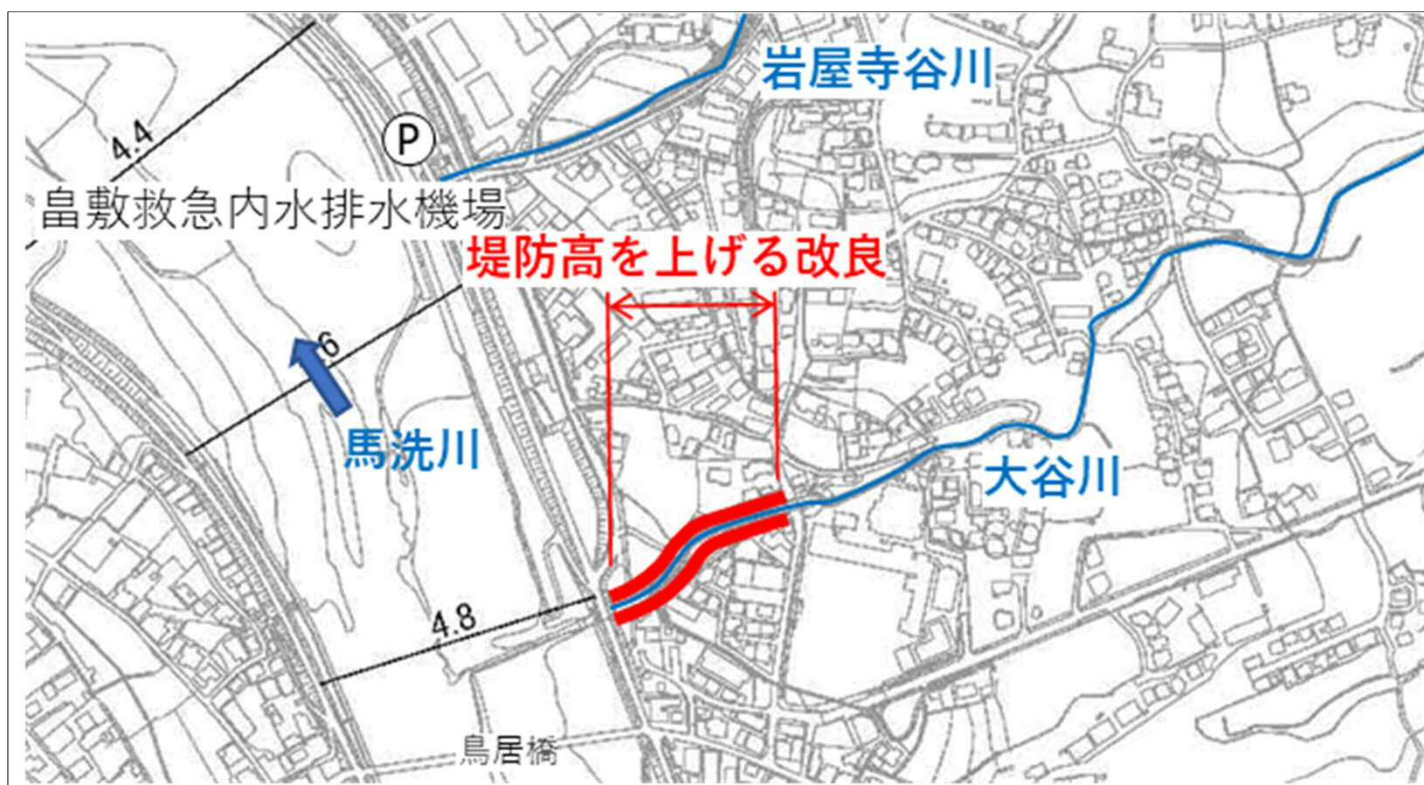
畠敷救急内水排水機場の排水ポンプの排水能力を既設の $3.0\text{m}^3/\text{s}$ から $5.0\text{m}^3/\text{s}$ に増強する。



内水対策の内容

(4) 支川の改良【事業主体：広島県】

支川大谷川からの氾濫を防止するため、大谷川下流部の堤防高を上げる改良を行う。



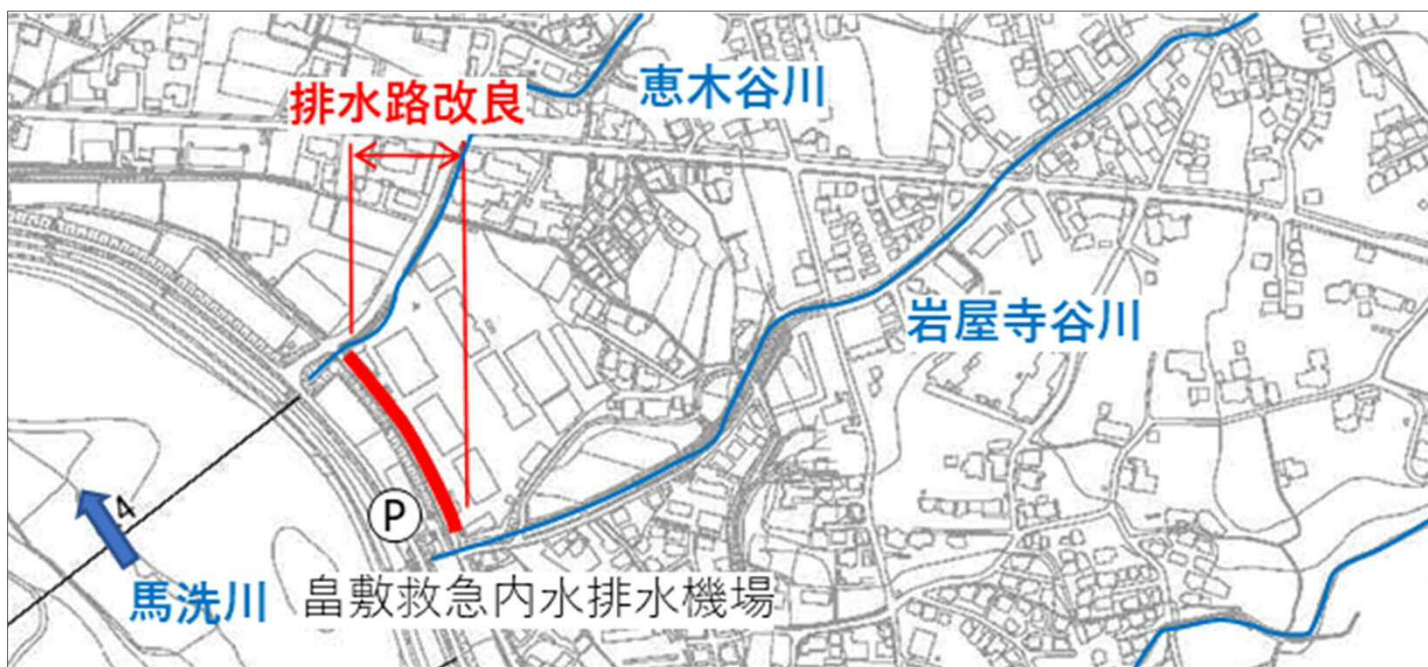
(5) 流域対策【事業主体：三次市】

内水による浸水深を低下させるために、願万地地区において2～3万 m^3 程度の貯留容量を有する雨水貯留施設を設置する。

内水対策の内容

(6) 排水路の改良【事業主体：三次市】

畠敷救急内水排水機場の排水ポンプの増強の効果をも十分に発揮させるため、恵木谷川から畠敷救急内水排水機場へ繋がる排水路の改良を行う。

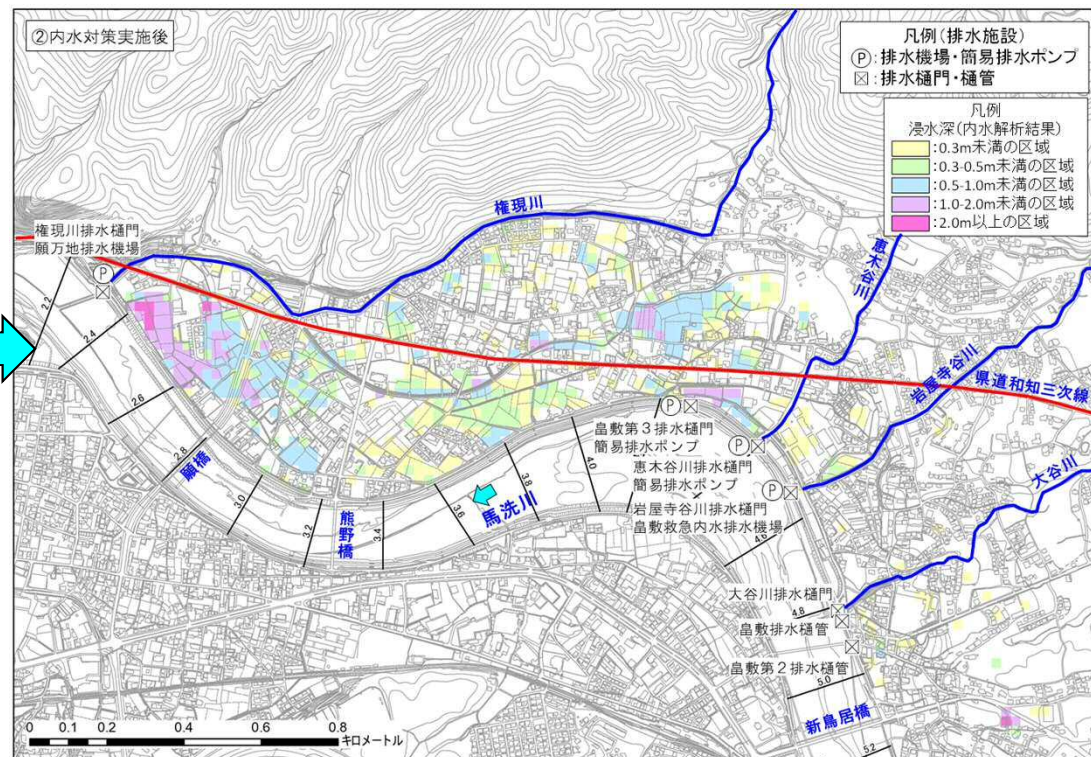
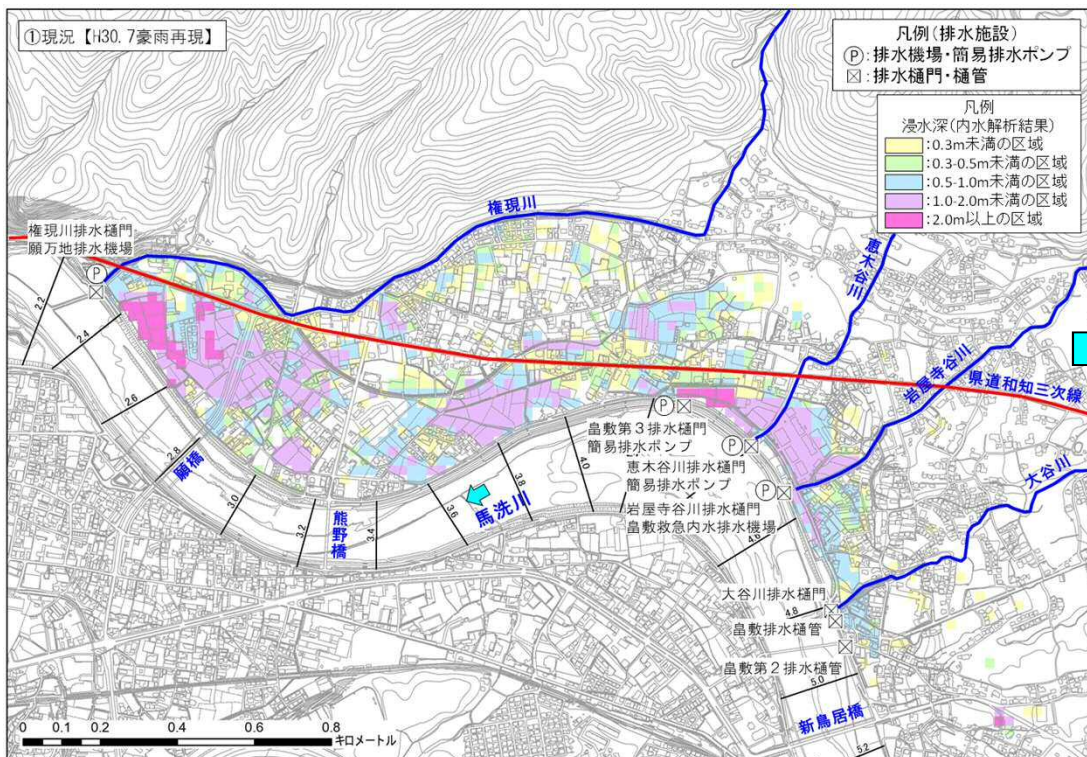


内水対策の内容

■内水対策の効果

内水対策前後の内水解析結果から、整備目標規模である平成30年7月豪雨と同様の降雨に対しての内水対策効果を下図に示す。

内水対策を実施することにより、平成30年7月豪雨と同様の降雨が発生した場合において、家屋の床上浸水被害が解消されることとなる。



内水対策の内容

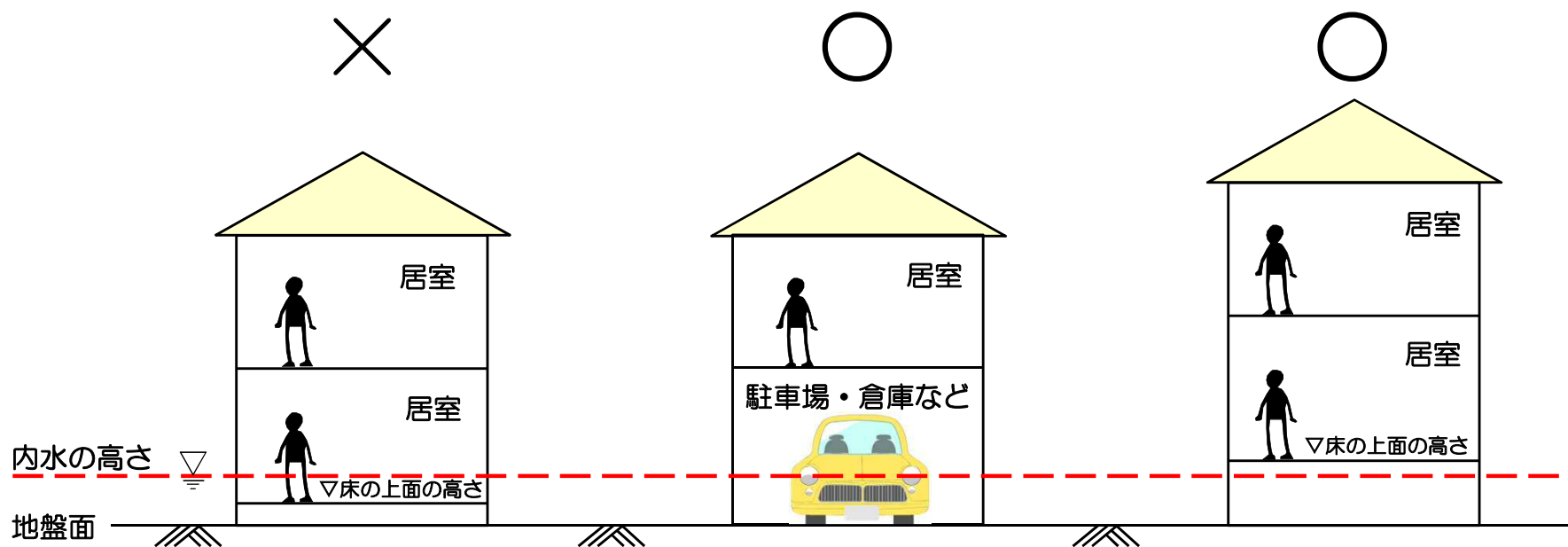
(7) ソフト対策【事業主体：三次市】

◆土地利用規制

内水による浸水の危険性が高い地区において、家屋浸水被害を軽減させるため、地域と連携して土地利用に関するルールづくりを行う。

土地利用規制に関するルールの案では、高さの低い土地等において、ハード整備の効果が十分発現するよう、建物の居室を設ける場合、床の上面を一定の高さ以上とするなどの対策を検討する。

また、内水対策実施後も湛水が生じる範囲については、盛土等の開発行為の規制について検討する。



内水対策の内容

◆その他のソフト対策（防災情報の提供）

①Web版ハザードマップの整備

ホームページ上で大雨の際に土砂災害の危険性のある区域や洪水により浸水が想定される区域を確認できるWeb版ハザードマップを整備し、円滑かつ迅速な避難行動等の促進を図る。

→「三次市防災ハザードマップ」で検索

http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/kikikanri_m/bousai/hazard_map_top.html

②防災放送アプリによる情報配信

防災放送アプリ「コスモキャスト」の導入により、避難情報等の災害に関する情報を効果的に伝達する。

→「三次市防災アプリ」で検索

http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/kikikanri_m/bousai/bousai-smartphone-service.html

